



十二月定例会

市政に対する一般質問

一般質問は、四日間にわたり二十二人の議員が行い、高橋みなおは、初日に登壇し質問しました。以下、概要を報告します。

地域公共交通の活性化及び再生について

本市においても将来的な人口減少社会に対応し、都市の持続を図るためにはコンパクトシティの実現、諸機能が集約した拠点同士、拠点と居住エリアを結ぶ地域公共交通ネットワークの構築が必要である。社会的要請の増大に伴い、バリアフリー対象駅の整備が平成三十二年度までに達成目標として掲げられているが、本市の目指す取り組みは、

新町駅周辺地区バリアフリー基本構想に基づき進めていくとともに、井野駅についても課題はあるが、協議や研究を進めていく必要があると考えている。

国や事業者、市民との連携を強固にする取り組みは重要であり、積極的な地域公共交通のネットワーク化の具体的展開が大切と考える。地域公共交通の活性化及び再生については、新たな協議会が必要であり、事業者や地方公共団体だけでなく、現場を知る働く人や有識者、公安委員会の参画が重要なポイントであるが、本市においてそのような組織設置への見解は、

幅広い関係者との相互の連携や地域住民の合意形成が必要不可欠なので、協議会の議論は課題の共有化に必要と考えている。まず、行政部門における十分な研究検討を鋭意進めていきたい。

国や事業者、市民との連携を強固にする取り組みは重要であり、積極的な地域公共交通のネットワーク化の具体的展開が大切と考える。地域公共交通の活性化及び再生については、新たな協議会が必要であり、事業者や地方公共団体だけでなく、現場を知る働く人や有識者、公安委員会の参画が重要なポイントであるが、本市においてそのような組織設置への見解は、

幅広い関係者との相互の連携や地域住民の合意形成が必要不可欠なので、協議会の議論は課題の共有化に必要と考えている。まず、行政部門における十分な研究検討を鋭意進めていきたい。

都市計画道路高前幹線の未整備区間について

まちづくりにおいて市民の活発な協力をいただいております。声にこたえるためにも都市計画道路の整備について示しておく必要があると考えています。新保・日高区画整理地内の高前幹線は4車線化となったが、高駒線までの区間における計画の進捗状況は、

交差形状は立体交差で都市計画決定されているので、事業費が多額になることなど課題も多く事業化の時期や整備手法など研究を重ねていきたい。

競馬場通り線から東口線までの区間は都市集客施設整備などの計画からも重要と認識しているが、どのような考えか。

事業効果の多い路線から優先的に整備しているが、用地買収費などの課題も多く、周辺道路の混雑状況などの調査を進めながら事業化の研究をしていきたい。

都市計画道路の整備が進捗し、部分的に開通すると周辺道路の一部に交通が集中してしまう。通学路や歩道の整備などの安全対策への取り組みは、

警察署との協議により安全対策を行っている。学校関係者及び保護者の要望を聞きながら周辺道路の安全確保を図っている。

後記

2015年の世相を表す漢字に「安」が選ばれました。世界で頻発するテロ事件や異常気象など人々を不安にさせた年というのも理由のひとつか。「地域の安心・安全」や「安全の先取り」を常に心がけている私としては、毎年選ばれても良い漢字という気持ちもしますが、皆様にとって新年が明るく、健康で豊かに過ごせる一年になることを願っております。

国の立地適正化計画制度の創設に基